

世界史 A		地理歴史	普通科目	選択必修修	通年	2単位
履修上の注意	「世界史A」「世界史B」のうち、いずれか1科目を必ず履修すること。 ただし、同一年度で「世界史A」「世界史B」の両方を履修することはできない。					
授業の目標・内容	<p>【目標】 近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連づけながら理解します。また、人類の課題を多角的に考察することによって、歴史的思考力を養い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養います。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 諸地域世界の形成 2. ユーラシアの交流圏 3. 一体化する世界 4. 現代の世界と日本 					
使用教材(費用)	教科書・資料集(計1500円程度)					
評価規準・方法など	定期試験・提出物・授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	「世界史A」は、「世界史B」にくらべて単位数が半分なのでやさしい、と考えるかもしれませんが、世界史の膨大な内容を半分の時間で勉強するので、歴史の流れをつかむ能力が求められます。 この科目では文明間の交流と、とりわけ近代史以降に力点を置いていますので、現代世界を理解する一助となることでしょう。 世界史で受験を考えている大学文系希望者は、「世界史B」を受講しましょう。また将来、「世界史研究」の履修を考えている人は前年度までに「世界史B」を履修することが必要となるので、十分注意してください。					
世界史 B		地理歴史	普通科目	選択必修修	通年	4単位
履修上の注意	「世界史A」「世界史B」のうち、いずれか1科目を必ず履修すること。 ただし、同一年度で「世界史A」「世界史B」の両方を履修することはできない。					
授業の目標・内容	<p>【目標】 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解します。そして文化の多様性・複合性と現代世界の特徴を、広い視野から考察することによって、歴史的思考力を育て、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 諸地域世界の形成(西アジア、地中海、南アジア、東アジア、東南アジア、イスラム) 2. ヨーロッパ世界の形成と発展 3. 近代ヨーロッパ世界の形成 					
使用教材(費用)	教科書・資料集(計1700円程度)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	大学の文系学部・学科等への進学を希望し、世界史での受験を考えている人は履修することが望ましいでしょう。また将来、「世界史研究」の履修を考えている人は前年度までに「世界史B」を履修することが必要となるので、十分注意してください。					
日本史 A		地理歴史	普通科目	選択必修修	通年	2単位
履修上の注意	「日本史A」「日本史B」のうち、いずれか1科目を必ず履修すること。 ただし、同一年度で「日本史A」「日本史B」の両方を履修することはできない。					
授業の目標・内容	<p>【目標】 近現代以降を中心とした日本の歴史を、当時の国際情勢と関連づけて、主体的に考えていきます。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇近代への胎動 ◇明治維新 ◇近代国家の確立 ◇日清・日露戦争 ◇近代産業の発展と社会運動の展開 ◇第一次世界大戦と日本 ◇第二次世界大戦と日本 ◇戦後日本の再出発 ◇独立後の政治と対外関係 ◇経済の発展と国民生活の変化 					
使用教材(費用)	教科書・史料集(計1800円程度)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	近現代を中心にあつかうので、大学の文系学部・学科等への進学を希望し、日本史での受験を考えている人は「日本史B」を受講しましょう。また将来、「日本史研究」の履修を考えている人は、前年度までに「日本史B」を履修する必要があるため、十分注意してください。					

日本史 B		地理歴史	普通科目	選択必修	通年	4単位												
履修上の注意	「日本史A」・「日本史B」のうち、いずれか1科目を必ず履修すること。 ただし、同一年度で「日本史A」・「日本史B」の両方を履修することはできない。																	
授業の目標・内容	<p>【目標】 原始古代から近現代までの通史を扱い、日本の歴史の時代の推移と特色について学びます。</p> <p>【内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>◇古代社会の形成</td> <td>◇律令国家の形成</td> <td>◇貴族政治の展開</td> <td>◇武家社会の形成</td> </tr> <tr> <td>◇武家社会の成長</td> <td>◇幕藩体制の成立</td> <td>◇幕藩体制の展開</td> <td>◇幕藩体制の動揺</td> </tr> <tr> <td>◇近代国家の成立</td> <td>◇近代日本とアジア</td> <td>◇現代の世界と日本</td> <td></td> </tr> </table>						◇古代社会の形成	◇律令国家の形成	◇貴族政治の展開	◇武家社会の形成	◇武家社会の成長	◇幕藩体制の成立	◇幕藩体制の展開	◇幕藩体制の動揺	◇近代国家の成立	◇近代日本とアジア	◇現代の世界と日本	
◇古代社会の形成	◇律令国家の形成	◇貴族政治の展開	◇武家社会の形成															
◇武家社会の成長	◇幕藩体制の成立	◇幕藩体制の展開	◇幕藩体制の動揺															
◇近代国家の成立	◇近代日本とアジア	◇現代の世界と日本																
使用教材(費用)	教科書・史料集(計1800円程度)																	
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。																	
備考	大学の文系学部・学科等への進学を希望し、日本史での受験を考えている人は履修することが望ましいでしょう。また将来、「日本史研究」の履修を考えている人は前年度までに「日本史B」を履修することが必要となるので、十分注意してください。																	

地理 A		地理歴史	普通科目	自由選択	通年	2単位
履修上の注意	同一年度で「地理A」・「地理B」の両方を履修することはできない。					
授業の目標・内容	<p>「地理A」では、自然や地形、地図の基礎的なことを学習するとともに、現代世界の諸地域や課題を学習します。</p> <p>◇現代世界と地域。地図の活用やインターネットや新聞などを使って世界と地域を学びます。 ◇世界の諸民族の文化。様々な地域の環境と社会の多様性や文化を学び理解します。 ◇現代世界の課題と国際協力。地球環境や様々な問題について学びます。</p>					
使用教材(費用)	教科書・地図帳(計2100円程度)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	自然や産業、地図、日本の諸地域、外国の国々を基礎的に学びます。 地理で受験を考えている人は「地理B」を受講しましょう。また将来、「地理研究」の履修を考えている人は前年度までに「地理B」を履修することが必要となるので、十分注意してください。					

地理 B		地理歴史	普通科目	自由選択	通年	4単位
履修上の注意	同一年度で「地理A」・「地理B」の両方を履修することはできない。					
授業の目標・内容	<p>「地理B」では、地形や気候などの自然地理から、資源、エネルギー、農業、工業などの産業まで幅広く学び、現代世界の国々やそこに暮らす人々の関係を理解します。</p> <p>◇現代と地域。現代世界の特色を、インターネットや地図・資料を活用して世界や日本の諸地域の特色を学びます。 ◇人間と環境。世界の人種・民族および人間の生活、文化等の特色を学びます。 ◇生活と産業。世界の国や人々の特色を資源や産業の関係から学びます。 ◇世界と日本。日本全体の特色を学習し、世界と日本の関わりについて学びます。</p>					
使用教材(費用)	教科書・地図帳(計2100円程度)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況により、総合的に評価します。					
備考	地形や気候、地図、資源や産業。さらに日本や世界の諸地域を幅広く学びます。 地理で受験を考えている人は「地理B」を受講しましょう。また将来、「地理研究」の履修を考えている人は前年度までに「地理B」を履修することが必要となるので、十分注意してください。					

現代社会		公民	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「現代社会」を1科目のみ、または「倫理」と「政治・経済」の2科目両方のくみあわせのうち、いずれか一方を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	現代に生きる私たちの課題として、地球環境、資源・エネルギー、科学技術と生命のかかわり、日常生活と宗教・美術、豊かな生活と社会福祉などを学びます。 また、現代の社会と人間の生き方について、青年としての社会生活、経済活動のあり方、民主主義の倫理、国際社会の動きなどをとりあつかいます。					
使用教材(費用)	教科書及び自主作成教材					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	授業に臨むにあたり、日頃から自分の身のまわりの出来事に興味・関心をもつことが大切です。					
倫理		公民	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「現代社会」を1科目のみ、または「倫理」と「政治・経済」の2科目両方のくみあわせのうち、いずれか一方を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	<p>【目標】</p> <p>「倫理」では、「問い」が与えられるのではなく、「問い」が求められます。現代を生きていく中で直面するさまざまな困難を、はっきりとした「問い」の形にし、かつ問い続けていくことは、あなたが、より豊かで味わい深い人生を歩むために必要なことです。この科目では、自分(わたし)の問題を自分(わたし)自身で考える練習をたいせつにしています。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己への問い 2. 他者とともに生きる 3. 自然と人間 4. 共存する社会 5. 人間にとってたいせつなもの 6. 人間を見つめて(古代) 					
使用教材(費用)	教科書(800円程度)・自主作成教材					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業への参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	深く考えることが好きな人におすすめします。					
政治・経済		公民	普通科目	選択必修	通年	2単位
履修上の注意	「現代社会」を1科目のみ、または「倫理」と「政治・経済」の2科目両方のくみあわせのうち、いずれか一方を必ず履修すること。					
授業の目標・内容	<p>授業の目標は、新聞やテレビのニュースの内容を理解できる基礎知識の習得です。授業の資料として時事的な内容を活用し、折にふれて現在進行形の問題もとりあげます。</p> <p>内容は、つぎのとおりです。</p> <p>【現代の政治と民主社会】日本国憲法の成立・平和主義と日本の安全保障・基本的人権・国会、内閣、裁判所の仕組みなど</p> <p>【国際政治と日本】国際法・国際連合と国際協力・戦後の国際政治の動向・軍備管理と核兵器の廃絶など</p> <p>【国民経済と国際経済】通貨の歴史・変動相場制・為替と貿易・マネー経済と通貨危機など</p> <p>【現代の経済と国民生活】市</p>					
使用教材(費用)	教科書(800円程度)・副読本(1000円程度)					
評価規準・方法など	定期試験、提出物、授業の参加状況などにより、総合的に評価します。					
備考	日々のできごとを、原因や理論も含めて深く学びたい人におすすめします。					